



ねつ造、隠ぺい、改ざん、セクハラと疑惑にまみれながら、過労死を増やす「働かせ方大改悪」を強行する安倍政権。暴走に市民と野党の共闘を前進させてきた北海道でどう立ち向かうのか、「戦争させない市民の風・北海道」の川原茂雄共同代表（札幌学院大学教授）と日本共産党の畠山和也前衆院議員（参院北海道選挙区候補）が縦横に語りました。2回にわたって紹介します。



対談する川原（左）、畠山両氏＝札幌市

共闘の思い受け止めまい進

畠山和也 参院北海道選挙区候補

日本共産党前衆院議員

川原 畠山さんとは同じ教職の経験があるもの同士としてシンパシー（共感）を感じていました。これまでじっくりとお話する機会がなかったので楽しみにしていました。

畠山 こころこそよろしくお願ひします。川原 総選挙では大変申し訳ないことをしたと思っています。私たちとしては力不足で、畠山さんを落とすことになるとは想像もしていませんでした。

情勢が急展開したため、なんとかして共闘を実現し、市民と野党の統一候補でたたかうことにエネルギーを注ぎ、共闘ができたところで安心していただけました。

野党共闘の逆流となった希望の党が立ち上がるなど、話し合いは随分苦勞されたことと察します。前に進められたのは一昨年の衆院道5区補選の経験があったからです。

「戦争させない市民の風・北海道」共同代表

川原茂雄 札幌学院大学教授

交流広げ支援の声を支持に

暴走政治と対決 じっくり対談

ありました。選挙戦後半、(比例の)畠山さんが厳しいということ、上田文雄さん(共同代表・前札幌市長)や、私が共産党カーで訴えさせてもらいました。もっと早くからやっていたらと悔やんでいます。

畠山 総選挙は直前に

な財産ができたと思っ
ています。立憲主義の
回復、安保法制(戦争
法)・共謀罪廃止、9
条改悪反対の旗印を掲
げ、日本共産党、立憲
民主党、社民党、市民
の風」で政策協定を結
んだのは北海道だけで
した。共闘勢力が道内
4割の議席を占め、当
選した議員の仲間が国
会で頑張っている姿は
うれしい限りです。

川原 共産党や立憲
民主党などの議員が森
友・加計疑惑などの追
及で安倍首相の退陣を
迫って奮闘し、とくに
道選出の議員が論陣を
張っているのを見る
と、私たちのたかひ
の方向性は間違ってい
なかつたと思います。

5区補選での共闘の
経験は非常に大きかつ
た。自民をあと一歩ま
で追い詰めた。共闘の
強い絆ができました。

総選挙は、逆流が起
きたもつで野党内にも
動揺がありました。が、
市民と野党の共闘を求
める声に候補者が応え

たことは5区補選以来
の絆の強さであり、そ
れが実感できました。

畠山 道内での共闘
を推進する人たちの熱
さは抜群でした。

転機となった原發問
題では、大通公園での
大集会や道庁前折議行
動などが平和や暮らし
を願う道民の心に火を
つけました。政治を変
え、憲法に基づく政治
実現へ、共産党も市民
の思いを受けとめなけ
ればと共闘にまい進し
ました。

川原 5区補選、参
院選、総選挙をたたか
うなかで、共産党の考
え方や政策、主張、た
たかう姿が間違ひなく
広く市民に浸透してき
ています。共闘を積み
重ね、共産党を支援す
る声が出ています。

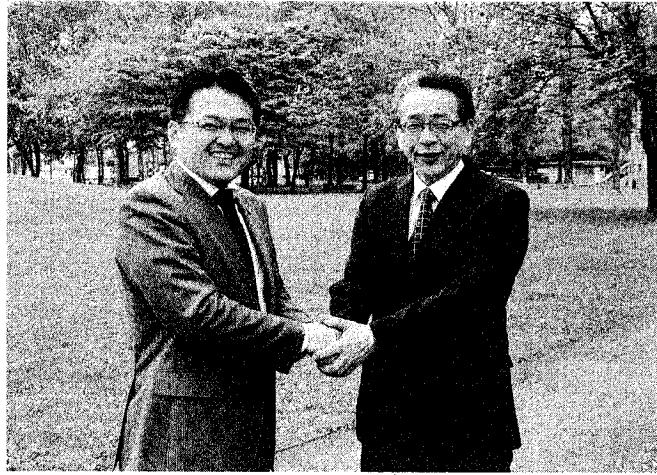
大事なことは、政策
と主張だけでなく、人
間と人間との交流、さ
まざまな行動を通して
信頼関係を強めること
です。正直、市民の側
にも共産党アレルギー
をもっている人はいま
もいます。

対話やカラオケな
どの交流を一緒にする
なかで人間同士の理解
が進む場合もありま
す。共産党や候補者を
支援する声を具体的に
支持につけていくた
めに、私たちも真剣
に考えていきます。

「国会に戻り力発揮して」

川原茂雄 札幌学院大学教授

「戦争させない市民の風・北海道」
共同代表



川原氏（右）と握手を交わす畠山氏＝札幌市

畠山和也

参院北海道選挙区候補

日本共産党前衆院議員

市民と野党の共闘を強く

畠山 この間、市民と野党の共闘を支える「市民の会」のみなさんと懇談をする機会が増えました。日本共産党は一生懸命やってくれたのに、選挙で応えられなかったのは申し訳なかったと話される一方、共産党に聞きたいことがあり、それを知った上で共闘したいといわれました。自衛隊のこと、党名のこと。党の全体像を知ってもらいたいと決意しています。

「市民政治はもうこりこりだ」という人が多くいるなかで、民主主義の危機を打開し新しい政権を野党でつくる構えで共通の政策を野党で話し合い、市民と懇談を重ね、旗印を明確にする努力をしています。

川原 共産党が市民とともにたたかうということとは早い段階からとりくんできたのではないかと

暴走政治と対決 じっくり対談

道委員会が行っている毎週月曜の定例朝宣伝でも反応が変わってきています。川原 今年、解散がない限り国政選挙がないので、「市民の風」としては来年の知事選で市民と野党の共闘でたたかい、総選挙で築いた共闘の枠組みを広げていきたい。統一候補を立てて知事選とりにいくことに力を入れたと考えています。

「市民の風」が間にあって、知事選にむけての共闘をすすめてほしい」との期待が高まっており、前向きにとりくんでいきます。

共闘の力を発揮して知事選で勝利できれば道民にとって、大きいと思われま。

北海道では、泊原発再稼働などの切実な課題があります。これまで何もしない知事だったので、一歩踏み出せる新しい知事の誕生で道政を転換することができそうです。そのたたかいは次の国政選挙で大きな力になります。

畠山 知事選に勝利し、続く総選挙で市民と野党の統一候補が4勝2敗で勝利した新潟県を見ても、市民と野党の共闘

怒りの声をあげ、退陣を迫っていくことが大事です。

畠山 そうですね。党

の流れは、政治を変える大きな力になります。いまたたかわれている新潟県知事選、秋の沖縄県知事選、そして来年の2つの選挙では、その流れを北海道でしっかり証明したいですね。

泊原発やカシノ問題では道民の反対は大きいし、憲法を顧みない現知事ですから、北海道から政治を変える知事が新たに誕生することは間違いないと大きな影響を与えます。

川原 畠山さんが国会議員として活躍している姿を見てきた者として、安倍政権の目に余る悪政に多くの国民が怒りの声を上げている大事な時、畠山さんが国会にいないのはとても残念です。ぜひ来年、国会に戻ってほしい、力を発揮してほしい。そのために「市民の風」として共闘を進め、頑張っていきたいと思えます。

畠山 国会で道民のみなさんの期待に応えられない悔しさを本当に痛感しています。いまは北海道で安倍政権打倒へ一生懸命頑張ります。今日はありがとうございました。

（おわり）